

# 自己点検・自己評価報告書

平成 31 年 3 月 30 日現在

ISI ランゲージスクール京都校

平成 31 年 3 月 30 日作成

# 目 次

## 第 1 設置者及びマネジメント

### 第 1 設置者及びマネジメント ..... 1

#### 基準 1 理念・教育目標 ..... 1

- 1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか ..... 2
- 1-2 教育目標が明確に定められているか ..... 3
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか ..... 4
- 1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか ..... 5

#### 基準 2 組織 ..... 6

- 2-1 組織体制 ..... 7
- 2-2 教員組織 ..... 8
- 2-3 事務組織 ..... 9
- 2-4 採用と育成 ..... 10

#### 基準 3 財務 ..... 11

- 3-1 財務状況 ..... 12

#### 基準 4 教育環境 ..... 13

- 4-1 校地・校舎 ..... 14
- 4-2 施設・設備 ..... 15

#### 基準 5 安全・危機管理 ..... 18

- 5-1 健康・衛生 ..... 19
- 5-2 危機管理 ..... 20

#### 基準 6 法令の順守等 ..... 21

- 6-1 法令の順守 ..... 22

#### 第 2 運営に関する事項 ..... 23

#### 基準 7 運営全般 ..... 23

- 7-1 組織的な運営 ..... 24
- 7-2 納付金 ..... 26
- 7-3 情報の共有化及び発信 ..... 27

#### 基準 8 学生募集 ..... 28

- 8-1 募集方針 ..... 29
- 8-2 募集活動 ..... 30
- 8-3 入学選考 ..... 32

#### 基準 9 教育活動 ..... 33

- 9-1 教育計画 ..... 34
- 9-2 実施 ..... 36
- 9-3 成績判定 ..... 39
- 9-4 授業評価 ..... 40

#### 基準 10 学生支援 ..... 41

- 10-1 支援体制 ..... 42
- 10-2 日本社会を理解し、適応するための支援 ..... 43
- 10-3 生活面における支援 ..... 44
- 10-4 進路に関する支援 ..... 46
- 10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援 ..... 48

<b>基準 1 1 教育成果</b> .....	<b>50</b>
11-1 成果の判定 .....	51
11-2 卒業生の状況の把握.....	52

# 第 1 設置者及びマネージメント

## 基準 1 理念・教育目標

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>●ISI グループの理念 「私たちは、グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献します」</p> <p>●ISI の教育方針 【国際理解を深める教育——国際力】 世界各国の学生との異文化交流で「国際交流」を深め、グローバルに活躍できる人材を育てます。</p> <p>【理解と納得の日本語教育——日本語コミュニケーション力】 目的に合わせ「読む・聞く・書く・話す」の技能と関連付けながら日本語運用能力を総合的に高めます。</p> <p>【社会人としての総合的な力を高める教育——人間力】 社会や企業の中で自立した一人の社会人として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を学びます。</p> <p>●本校の特色は何といても在校生の多様化にある。2017 年夏には京都への学校移転を予定しており、このグローバルな環境を活かして日本語コミュニケーション力の養成を行い、社会に貢献する人材の育成を実現できる点が第一の特色である。</p> <p>●本校の将来構想は、学習者と社会の幅広いニーズに応えるための学校運営をめざし、入口から出口を一貫した理念で経営していく方針である。また大学・大学院・専門学校、企業との連携を深め、より高い次元でのグローバル人材育成教育機関を目指した将来構想を持っている。</p>	<p>●International Study Institute 中京の歩み 【第一フェーズ】 2003 年、International Study Institute 中京として岐阜県岐阜市に設立、定員 100 名からのスタートとなった。</p> <p>【第二フェーズ】 2009 年、設置法人を(株)アイ・エス・アイへ変更、翌 2010 年、定員 100 名から 150 名へ増員。受け入れる国籍をアジアのみならず多国籍へ拡大。</p> <p>【第三フェーズ】 2014 年、教育カリキュラムの全面見直しを行い、宿題、テスト等、学生の進路に即した(特に非漢字圏の大学進学を意識した)カリキュラム内容へと変更。</p> <p>【第四フェーズ】 2016 年、カリキュラム改訂後の学力向上結果も実績が出てきた。また自動車系の進路選択者の増加から選択授業の中で中日本自動車短大との連携カリキュラムにも挑戦し、進学実績も出た。</p> <p>【第五フェーズ】 2017 年 7 月、校舎の老朽化と今後の拡大を視野に、校舎を京都へ移転し、校名も ISI ランゲージスクール京都校へ改名。教育カリキュラムの更なる充実と、教育環境の充実を図り、定員も 225 名へと拡大。</p> <p>【第六フェーズ】 京都移転後、順調に学生数は増加し、すでにご入学のキャンセル待ちが出ている状況となり 2018 年 7 月より 225 名の定員から 337 名へ増員申請を行った。また学校から徒歩圏内に新たな新規学生寮を新築し、学生の学習支援のみならず生活支援の充実も図っている。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 30 日	記載責任者	井尾 美穂
--------	-----------------	-------	-------

## 1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定められている	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などは、当校のホームページ、スタートブック、入学案内書に明示されている。	非常勤講師にも浸透させているが、新規採用などもあるので適宜、それらの意識統一などを研修などで行っている。	学校案内チラシ ホームページ スタートブック
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	具体的な計画・方法を持っている	2018年度から2020年度の中期ビジョン戦略マップで、戦略目標・数値目標を達成するためのKPIを確立している。	具体的な計画・方法は実行を伴わないと意味がないので、その実行力をきちんと人事評価することでPDCAサイクルを循環させる。	『2018年－2020年度中期計画』
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的・行動指針は学園の普遍的な原理としているため、時代の変化に対応した内容は中期計画に反映するようにしている。	3か年に1回時代の変化に対応し、中期計画を立て、本校のバランススコアカード、戦略目標を立てている。	外国人留学生が多数在籍する本校であるが、法務省の政策や社会のニーズなど、常にアンテナを高く張る必要がある。	『2018年－2020年度中期計画』
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	教職員に周知され、学外にも広く公表されている。	教職員には学内に理念が記載された額を掲示しており、学外には学校案内書・ホームページで広く公表している。	多言語での学外への公表が必要であり、全世界に発信する必要がある。	学校案内書 ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
理念・目的・育成人材像が抽象的になるのを避けるため、9項目の行動指針を策定し具体的な実践をするようにしている。並びに中期計画では上記の理念等を普遍の原理とし、バランススコアカードに基づく戦略マップに落とし込み、戦略目標・数値目標・KPIを明確にし、一人一人の教職員がそれに沿った形で個人目標を半期ごとに立てるようにし、人事考課を行っている。	非常勤講師にも会社理念、目的の浸透を図る方法を検討しなければならない。随時新しい職員を採用する現場としては、最初だけでなく途中でのそれらの意識統一をいかに行うか、特に検討が必要だと思う。 また、時代の流れとして、当校ではインターンシップや1 Dayセッションなどを行っているがそれらの方たちへの案内の仕方なども要検討である。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾 美穂

## 1-2 教育目標が明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	日本の古都である京都で、日本文化を体感しながら、日本語授業を提供。また、新しい施設で最新の ICT 設備を整え、積極的に授業で活用している。	課外活動に日本の文化を体験できるような企画を毎週1度以上行っている。また、ICT ルームを設置し、授業で積極的に利用している。	文化体験の課外活動の参加率が低く、学生の求めている内容を再度検討したい。学生アンケートを随時実施し、ニーズの高い課外活動の提供をしたい。	ホームページ Facebook

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
2017年7月開校以来提供してきた文化のコースの昨年度課題として挙げてきた学生の求めている内容の追求について、学生からアンケートなどを取ってみて、声を生かす努力をしてきた。また、教授内容について、「会話」重視に行ってきたが、学生からの声を元に「文法」にも力を入れるべきだという結論に至り、2019年度からコースの一部を変更する予定まで精査できた。	ISI グループにある日本語学校で「京都」に所在するという利点を生かしたコースとして存在している。しかし、Can-doでの指導を試みているが、学生にとっては、慣れない指導法で戸惑う学生も見られたようである。コースの説明を申し込み時だけでなく、入学時にもしっかりし、学習目的を明確にすること、また、入学時から比較し、どのくらいできるようになったか、などもしっかりと明確に打ち出すことができると今以上に良くなると考える。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾 美穂
--------	------------	-------	-------

### 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	時代の変化に合わせた中期計画を3年ごとに策定している。	時代の変化に合わせて3年ごとに中期計画を策定し、そこから戦略マップ・戦略目標・KPIそして個人目標へと落とし込んでいる。	特に外国人留学生の進路決定については年々変化をしており、その動きを敏感にキャッチし、募集活動に活かすスピード感が求められる。	『2018－2020年度中期計画』

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
コースを満了し、卒業する学生たちの進路先受験、合格等の状況が昨年度と比較し、ずいぶん変化してきている。その状況をしっかり把握し、来年度以降どのような形で進路支援をするのか、またコース自体のカリキュラムにどのような形で反映させるのかは、今現在の日本語学校増加を受けて、他校と差別化を図るためには、とても必要なことだと感じる年となった。	時代のニーズとして、日本語学校から直接就職する学生も増えてきている。今現在は進学コースとして授業を行っているが、今後、このニーズを叶えるためには一部カリキュラムの見直しなども必要かと思われる。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾 美穂
--------	------------	-------	-------

### 1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	職員会議、講師ミーティング等で共有されている。	職員会議、講師ミーティング等で議事に上げ、それについて話している。	話はしているものの、認識として甘い部分があるためもう少しやり方を検討すべきだと思う。	『2018-2020 年度中期計画』 講師ミーティング資料

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
毎年、年に2度行われる全社会議の決定事項を常勤職員だけでなく、定期的に行う非常勤講師ミーティングの際に、非常勤講師に対してもしっかりと落とし、学校として同じ方向を見て学生指導ができるよう、情報共有に努めるようにしている。今後は本部と一緒に教員用ガイドブックを作成していく予定である。	ミーティングに欠席する非常勤講師や途中入社非常勤講師に対しての共有に話すタイミングにより温度差が生まれる。また、進捗の確認など意識して行っているが、それぞれの講師のキャリアによって受け取り方がかなり異なっているように思われる。この点を今後どのように指導を行うか、更に検討が必要だと感じる。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾 美穂
--------	------------	-------	-------



## 基準 2 組織

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>○組織体制については、設置代表者及び経営担当は基準要件に適合しており事業規模に応じた組織体制になっている。京都に移転してからは、各言語対応可能な職員を雇用し、学生の管理にしっかりと取り組むことが出来る組織になった。</p> <p>○教員組織については、校長、主任教員及び教員は基準要件を備えており、職務内容及び責任と権限が明確に定められてはいるし、職務分掌と責任がステージごとに明確にされている。ただし、職員自身がその責務を完全に理解し業務を行っているか？という部分で認識が甘い部分がある。</p> <p>○非常勤講師については、増員申請をしたため、未経験者を含む新規の先生が多い状況となっている。未経験者の育成のみならず、雇用し始めてから然るべき年月が経過した講師に対しても、常に育成が必須であり、その部分にしっかりと時間が割けなければならないと感じる。</p> <p>○事務組織については、生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められている。各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているため、学生は混乱なく職員に相談できる体制となっている。また、入管申請取次者、防火防災管理者も設置し然るべき届出、対応を滞りなく行っている。</p> <p>○事務局担当者も定員数増員に伴い増やしている。日本語学校未経験者の採用もしているため、学生管理を含め、諸業務に対し、また現在の法改正を含め告示校としての役割をしっかりと育成をしなければならないと感じる。</p> <p>○採用と育成については、日常的に非常勤講師の採用は行っているが、有資格者での採用にはこだわっている。また、育成についても雇いっぱなしにはせず、常に上のレベルを目指し各種研修会などを実施している。人事考課も常勤のみでなく非常勤講師に対してもしっかりと制定されており、それぞれが頑張れる体制となっている。</p> <p>○常勤のみならず、非常勤に対しても学校の方向性、未来像をしっかりと植え付け、全員でいい学校が作れるよう意識統一を図るために定期的にミーティングを通して行っている。</p>	<p>○事務組織についても増員後、新規で採用した職員について、在留管理の基礎知識の指導から始めており、まだまだ未経験の部分が多いことは否定できない。今後、いろいろなケースを経験していただき、また随時行う事務研修で事例発表などもしながら、学生管理に努めていきたいと考える。</p> <p>○それぞれの職員の基準要件をきちんと備えてはいるが、それぞれが自分の権限の把握がきちんとされているか、また、上のステージになるための努力、上長からの指導が徹底されておらず、後追いとなっている。人事考課の仕方の勉強会を主任レベル以上では行っているが、一般職員まではしていないため、この辺りもしっかりと全職員が理解できるよう、指導することを考えたい。</p> <p>○昨今の日本語講師不足に伴い、大学主専攻などの新卒採用を積極的に行っている。ただ、採用が先行し、採用後に社会人としての基礎知識をはじめ、通常業務、また日本語指導においての新卒に対する指導要項がはっきりとしていないため、当校の基準書の作成をする予定である。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾 美穂
--------	------------	-------	-------

## 2-1 組織体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1-1 設置代表者及び 経営担当は基準要件に 適合しているか	5	基準要件に適合している。	法務省 HP,また(一財)日本語 教育振興協会の基準に基づ いて選定している。	特になし	日振協申請書類
2-1-2 事業規模に応じ た組織体制になってい るか	5	基準要件に適合している。	法務省 HP,また(一財)日本語 教育振興協会の基準に基づ いて選定している。	今後増員検討をすることにな る場合、準備基準にあった 人事体制にすることを随時 検討する	人事組織図
2-1-3 受入れする学生 の言語対応可能な組織 になっているか	2	十分とはいえない	多国籍の学生在籍となってい るが、それぞれの国の言語 が話せる職員が不在である。	不足している部分の補充は 検討する。	人事組織図

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
今現在の定員に対して、職員は充足している。 しかし、それぞれの職員において、未経験者の採用もしているため、育成スケジュールをしっかりと立て、早く現場に慣れていただくような企業工夫が必要であると感じる。	今後、組織を大きくする予定であるため、随時、新入社員に対しての研修を含め、今の学校質を落とさないための努力を随時するべきであると考えている。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾 美穂

## 2-2 教員組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 校長、主任教員及び教員は基準要件を備えているか	5	基準要件を備えている	法務省 HP, また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて選定している。	新規採用時も基準に該当する職員の採用を心がける	日振協提出書類 入管提出書類
2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	5	責任と権限が、明確に定められている。	社内で行う人事考課にもそれぞれの役職に伴う職務内容の範囲が明示されている。また、社内システム(E-System)、職務分担表にも役職ごとの権限が定められている。	時代、また学校規模による職務権限を随時見直し、職員への共有を図っていかねばならないと感じる。	非常勤講師マニュアル 職務基準書 人事評価表 AFシステム
2-2-3 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	5	ステージごとに明確にされている。	社内で行う人事考課にもそれぞれの役職に伴う職務内容の範囲が明示されている。また、社内システム(E-System)、職務分担表にも役職ごとの権限が定められている。	時代、また学校規模による職務権限を随時見直し、職員への共有を図っていかねばならないと感じる。	職務分担表 人事評価表

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
それぞれ、決められた基準要件を備えた職員を在籍している。それぞれの役割もしっかりと社内的に職務基準も決められている。ステージも明確にされており、組織的に経験を積んで上のステージになれる社内システムにもなっている。ただ、特に未経験者においてはまだこれらのシステムをよく理解しておらず、今後はこの部分の理解をどのタイミングですべきかは要検討。	それぞれの役職の職員が自分の役割をよく理解しており、自分の職務権限内での職務にしっかりと当たっている。今後は現段階での業務を今までの経験を生かし、さらに上の立場での仕事が出来よう、研修などソフトの面の検討が必要だと思われる。また、新入社員に対しての自分の職務についての業務把握をしっかり社内的にさせる機会を与えるべきだと感じる。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾 美穂

## 2-3 事務組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-3-1 生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められているか	5	基準要件を備えている	法務省 HP, また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて選定している。	常勤職員は特に全員が出来ないといけないと考えるため今後ジョブローテーションを含め経験させる検討が必要	日振協提出書類 職務分担表
2-3-2 各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているか	5	それぞれにしっかり周知されている。	入学式、オリエンテーションで職員紹介をしっかりと行い、学生に周知している。教職員に対しては講師ミーティングで周知している。	周知はしていても、特に学生が分からない場合があるため、周知方法を今一度検討する必要がある。口頭周知で書面ではないため要検討	業務分担表
2-3-3 入管申請取次者、防火防災管理者を設置しているか	5	それぞれに設置している。	それぞれ、しっかりと講習を受け、その担当者が届出を行い職務についている	初回講習を受けっぱなしになっているため、適宜講習の受けなおしをして意識を薄くさせない努力が必要	入管申請取次者証明書 防火防災管理者修了書
2-3-4 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	5	明確にされている。	職務分担表に明示されている。	今に満足せず、適宜見直しが必要	職務基準書 人事評価表

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
それぞれ、しっかりと担当者が設置されている。その職務内容についてもよく理解しており、学生たちを生活の面からサポート出来る体制になっていると思う。	生活指導者、入管事務担当者等、学生の生活に絡む人事についてはしっかりと明確に役割が決まっている。しかし、この仕事は学生にとっては非常に重要な担当者であるため、役割についていない職員でも一通り担当できるよう、常に意識しながら体制を再検討するべきである。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾 美穂

## 2-4 採用と育成

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 教職員の採用制度は整備されているか	4	ある程度整備されている。	適性検査 資格証の確認など	未経験者の採用時、本人の仕事に向かう姿勢で判断するが、人により曖昧である。	社内申請手順一覧
2-4-2 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	行われている。	求人、採用活動 採用後の研修システムが整備されている	研修システムはあるが、全員が全部参加できているわけではないため今後、方法については要検討	人材育成計画（管理部）
2-4-3 人事評価制度は整備されているか	4	人事評価制度は整備されている	人事評価制度	評価基準の見直しの定期化と内容検討は必要であると感じる	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制
2-4-4 昇進昇格制度は整備されているか	4	昇進昇格制度は整備されている。	人事評価制度	評価基準の見直しの定期化と内容検討は必要であると感じる	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度
2-4-5 賃金制度は整備されているか	4	賃金制度は整備されている	人事評価制度と給与規定	整備はされているが、時代に合わせ随時見直し等、検討が必要	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI グループの人事評価および賃金制度は労働基準法に遵守した制度となっており、十分整備されている。またグループウェアでも人事規定が閲覧可能となっており透明性がある。	今年度も一部改訂しながら（非常勤考課に関して）改善を図ってきた。昨今の非常勤講師の雇用のしづらさなどもあるため、市場も意識しながら、賃金制度について明確であること、また、モチベーション低下に逆に賃金制度が繋がらないよう、制度の制定だけでなく、一人ひとりへの説明もしっかりしていかねばならないと感じる。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美徳
--------	------------	-------	------

## 基準 3 財務

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>財務状況については、学生数も増えており、将来に向かって更に大きく展開する予定であるところから、長期的に学校の財務は安定しているといえる。予算・収支計画もしっかりと立てられており、毎月の幹部会議で予算乖離もしっかりと報告されている。</p> <p>会計事務所に会計監査を委託しており、適正な収支管理と責任体制が明確になっている。</p>	<p>本校は2018年7月に337名へ増員し、その後、2019年10月よりさらに505名へ増員する予定である。長期生は順調に増えているが、校舎の収容定員からみても、短期生の受け入れの更なる増は経営として安定させるためにも早期に進めたい計画となっている。将来的な校舎の有効活用も含め今後も引き続き財務を含む現場の適正な監査を組織的に行っていききたい。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

### 3-1 財務状況

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	5	学生数も増えており、将来に向かって更に大きく展開する予定である。	337名に増員し、更に2019年10月より505名へ増員する予定である。	校舎もリニューアルし増員することで、今後5年10年後を見据えた経営をするために、今投じる必要経費を十分に回収できる学校運営をしなければならない。	決算書
3-1-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	年に2度行われる全社会議と毎月行われる幹部会議にて会社の予算・収支計画について、常に報告をしております現状把握が出来ている	それぞれの会議報告にて現状の報告、把握を幹部で行っている。	年度初めに立てた予算計画と大きく乖離のあった部分について再検討しながら翌年にも反映されるよう進めている。	予算書 予実乖離分析報告
3-1-3 財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に行われている	各部門にて処理されたものを本社で一括処理、その後会計事務所を通じ完成させ、社員に対してある程度ディスクロージャーされている。	会計監査は会計事務所に委託し行っているが、実態の妥当性確認に関しては現場に監査を入れ詳細確認を行うなどの対応が今後は必要。	会計監査報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
会社の全部門が学生を増やす計画の中で運営が進んでおり、経営状態は安定しているといえる。3年度の2020年に向けた具体的な拡大計画は資金面、施設面においてもすでに計画がされており、それらをもとに実行がなされている。	今年度は事務の省略化を図ってきた。効率よく業務を行うことで人員削減なども図れた。今後は増員に伴う人員強化も含め総体的な無駄の削減を図りながら、サービスの低下をさせることなく、満足度が学生増員に繋がるよう、会社の増員計画に従い現場を調整していきたい。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 基準 4 教育環境

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>京都に移転し、新しく全面改築、教育機関にふさわしい環境にした。教室数、自習スペース、面談スペース、進路相談スペース、図書スペース、カフェ等の環境を充実させ、学生たちがのびのびと学校生活を楽しく過ごしていただける空間を整えた。全館 Wifi 環境を整え、全教室にはプロジェクターを設置、多目的使用の和室や祈祷室も設置した。</p> <p>また、教職員と学生の距離を縮めるため、カウンターなども低くし、ロビーもあえて接しやすい椅子、机を配置、学生が多くなってもアットホーム感のある学校づくりができるよう、設備も工夫した。</p>	<p>学生のための自習環境を当初数多く設置したが、なかなか、点々としている箇所、またオープンスペースより、自習室、という部分があったほうがいい、という学生からの声で今現在、空いている東館の1Fを前面自習室として解放した。朝から夕方まで、学生が熱心に勉強している姿が毎日見られ、結果として非常に良かったと感じる。</p> <p>ただ、このスペースも学生増に伴い、将来的には提供できないスペースとなるので、自習室に関しては再検討が必要となってくると思う。</p>

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂



#### 4-1 校地・校舎

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 教育機関として適切な位置環境にあるか	5	教育機関として適切な位置環境にある	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	HP
4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されているか	5	安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されている	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	HP
4-1-3 校舎面積は基準に適合しているか	5	校舎面積は基準に適合している	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	校舎図面
4-1-4 防災に対する体制は整備されているか	4	防災関係の備品は点検と設置を徹底している。 また、計画書を提出し、避難訓練を実施した。	避難訓練を実施し、消防訓練も行った。また煙体験、蘇生体験、地震のDVDの鑑賞なども行った。	避難訓練はしても、実際災害等が起こったときはその通りに動けないと思うので、日ごろから意識持つような体制にしたい。	消防署への届出 避難訓練計画書、実施書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
安定的な経営、学習環境の整備を長期的に図り、建物改築の際には十分審議をかけ設備の充実を図った。今後はそれらの設備を有効活用しながら、学生の学習環境の維持を計画的に図っていきたい。	防災に対する意識統一は、避難訓練はしたものの、実際そうなった場合を想定すると避難場所までの避難や連絡網の徹底など、まだまだ不十分な部分があるので、それらをしっかり整備し、勤務する職員並びに学生にしっかりと周知できる体制を検討していかねばならないと考える。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 4-2 施設・設備

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 教室・その他施設は基準に適合しているか	5	日振協・法務省の实地審査に合格しているため、適合していると判断している。	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	日振協・法務省提出書類
4-2-2 教室内は十分な照度があり換気がなされている自習できるようか	5	照度・換気ともに問題がないと判断している。	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	校舎図面
4-2-3 すべての教室は、教育上必要な遮音性が確保されているか	4	遮音設備は施していないが、周囲が住宅地であるためとても静かである	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	特になし
4-2-4 授業時間外に自習できるスペースが十分確保されているか	5	どのフロアにも適宜机と椅子を設置し、自習できるようにしてある。また空き教室も開放し、自習できるスペースとして提供している。	校舎図面	特になし	校舎図面
4-2-5 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか	4	図書館にも多くの図書を準備し、いつでも学生が閲覧できる環境となっている。	今後もさらに蔵書を増やす予定。また、進路先の情報、就職に関する情報誌も増やしていく予定	計画に沿って増やす予定。	日本語教育関係図書の蔵書目録

4-2-6 視聴覚教材やICT教育の設備が整備されているか	5	十分なされている	全教室にプロジェクターを完備、また、ICTルーム、ラーニングコモンズ設備などを完備している。	設備は完備したので、今後は積極的に利用したい	ICT設備リスト
4-2-7 教職員の執務に必要なスペースは確保されているか	5	専任は十分であるが、非常勤講師の執務スペースは増員に伴い講師数が増えたため十分とは言えない。	東館、西館の教員スペースの利用の仕方を再検討すべきである。	学生定員の増員に伴い職員の増加にもなっている。効率的に働く環境を整えるのは常に課題であり、更に今後も増加で使用する職員スペースの使用の方法も要再検討。	校舎図面
4-2-8 学生数に応じたトイレが設置されているか	5	建物の基準に応じたトイレは設置されている。	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	校舎図面
4-2-9 法令上必要な設備等が備えられているか	4	日振協・法務省の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	基準に基づき整備する予定	日振協・法務省提出書類
4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形上であるか	5	危険のない形状である	法務省 HP,また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて整備している。	特になし	日振協・法務省提出書類 校舎図面

4-2-11 バリアフリー対策が施されているか	4	西館は一部施されていないところがある。(トイレ)	東館はほぼ施されていないがトイレのみバリアフリー対策が出来ている。	全館がバリアフリーとはなっていない	校舎図面
4-2-12 校内の清掃状況は管理が行き届いているか	5	校内の清掃状況は管理が行き届いている。	清掃業者とも常に状況の把握をし清掃状況を理解している。	引き続き業者も入れて年間予定を立てて清掃を行っている。	学生満足度アンケート結果

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
施設、設備については、勉強にふさわしいとてもいい環境であると思う。教室は広く学生にとってはいい環境であるが、職員スペースについては西館と東館をうまく組みたて、教職員をしっかりと配置して学生からの相談事項にいつも対応できるようにしていきたいと思っている。	今後学生数が増加するにつれ、職員配置を検討すべきである。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美徳
--------	------------	-------	------

## 基準 5 安全・危機管理

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>○健康・衛生について、学生の健康診断は入学前に指導し、させてからの来日を指導している。入学後結核健診も業者を選定し、今年度は全学生に対して実施した。今後は定期的に計画を組み行っていく予定である。</p> <p>また、国民健康保険の加入も長期進学者に対しては徹底して行っているが、非進学者に対しては任意としている。この状況が妥当かどうかを今一度検討したい。感染症については学校内では徹底できている。</p> <p>○危機管理について、防火管理については意識が高いが、危機管理は薄いと感じる。また災害時、警報発令時などの取り決めが曖昧な部分がある。</p>	<p>○国民健康保険に変わるものの加入（短期生に対して）</p> <p>○避難訓練は行ったが、通常の緊急時に同じ様に出来るかどうかは正直厳しい。常に緊急時のことを想定する体制としなければならないと感じる。</p>

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂

## 5-1 健康・衛生

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 学生の健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	3	衛生委員会があり、毎月活動はしているが浸透はしていない 年に1度結核健診を行っている。	月に1度の衛生委員会の開催 年に1度の結核健診の実施	入学前健診の徹底と、年に1度の健康診断の徹底 衛生委員会の内容周知の方法の要検討	結核健診の結果 衛生委員会の開催通知
5-1-2 学生全員が適切な健康保険に加入しているか	4	ほぼ全員加入している	短期生については自国の保険に加入している。長期生に関して欧米学生は任意としている。進学する学生については100%加入させている。	非進学の学生についての保険加入を再度検討しなければならない。	国民健康保険証のコピー
5-1-3 感染症発生時の措置を定めているか	3	十分とはいえない	公欠規定はしっかり定めて学校を休ませることは出来ているが、寮の対策が出来ていない。	今後感染症発症時、寮でどう対策をするのか、検討が必要 マニュアルの作成も同時に行いたい	マニュアル（作成中）

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
健康については、本人任せにしている部分も多いように感じる。 長期生(進学希望者)に関しては国民健康保険に強制的に加入させているがそれ以外の短期学生については、任意にさせている。感染症発症時についても、学校欠席のルール化は出来ているが、寮での感染対策までは出来ていないため再検討が必要だと考える。	国民健康保険に加入しないのは、欧米学生を中心とした自国で保険制度がしっかりある国の学生である。学生のニーズと現実の部分では、今一度検討が必要だと感じる。感染症対策について、私生活での管理をどうするかは更に検討が必要。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 5-2 危機管理

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 危機管理体制が整備されている	3	危機管理体制は整備されつつある	各事業所の衛生委員が危機管理体制の整備・制定を準備している段階である	危機管理に対する意識の統一化を図ると共に業務復帰がスムーズに出来るよう常に体制作りをしなければならない。	避難訓練マニュアル 災害対策携帯カード
5-2-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか	3	避難方法・避難経路・避難場所は定められている	入国時オリエンテーションにて案内している。	移転後の避難訓練が未実施である。しっかりと計画を立て、実施したい	避難訓練マニュアル
5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を空定めているか	3	その時の気象状況に応じて事務局が判断。	その時の状況で学校長が判断しており、一定の基準が不十分である。	ある程度のマニュアル作成と、一定の基準作成が必要だと感じる。	職員緊急連絡網
5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に実施しているか	3	2019年1月に実施済み	マニュアル、体制を計画し実施した。	災害がいつ起こっても想定した動きが出来るよう、更に回数を検討したり職員だけの避難訓練も重ねたい	避難訓練マニュアル 実施報告
5-2-5 防災用品が備蓄されているか	4	避難時のヘルメット・脱出用工具・ラジオのほか、災害用の備蓄（水・食料・防寒具）を校内に格納してある。	学生数、職員数に基づき必要最低限の用品を備蓄している。	備蓄の在庫管理と入れ替えなどルール化がされていない。今後要検討	防災用品購入リスト 備蓄リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
3.11以降、防災用品や食料・水の備蓄を進め、避難訓練を実施。消防署にもご協力いただき、消火訓練や煙体験、心肺蘇生法の指導なども行った。危機管理体制は次第に整備されてきているといえる。	4期制を取っているため、年1回の避難訓練では行き届かない部分もあり、不足する部分をどのように補っていくかが今後の課題。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美徳
--------	------------	-------	------

## 基準 6 法令の順守等

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>法令の遵守においては、株式会社アイ・エス・アイとしても非常に意識をしている部分である。</p> <p>本校は日本語教育振興協会に認可を得て開校以来、「適正な設置基準及び学校運営がされている」と定期的な実地検査でも認められている。</p> <p>個人情報の取り扱いに関しては、ISI グループ全体の重要方針として、「個人情報を適切に取り扱い、保護することが極めて重要である」と深く認識している。</p> <p>そのため、重要書類の保管方法を職員に厳守させ、不要な文書はシュレッダーを利用、定期的な保管文書整理では溶解処分を業者に委託しており徹底した個人情報保護に努めている。</p> <p>また入学時に「個人情報取り扱いに関する同意書」を学生に署名してもらい、学校の学生情報の取り扱いの対策を講じている。</p> <p>職員に関しても定期的に各自でセキュリティチェックをするようになっており、個人情報などの使用についてはそれぞれ意識していただくよう周知している。</p> <p>自己点検・自己評価に関しては、日本語教育機関の学校評価が義務化されたこともあり、通年確認しながら行っている。</p> <p>日ごろの業務・方針などを改めて点検・評価することで課題が浮き彫りになり、ひいては本校の発展につながるものであることを肝に銘じ、今後も真摯に取り組んでいきたい。</p>	<p>個人情報の保護に関しては、対策もさることながら、職員の意識づけが肝要であり、新入社員研修では強化すべき項目と考える。</p> <p>また、学生数の増加により取り扱い方法や保管方法が粗雑になりがちのため、定期的な啓発活動と同時に不定期なチェック体制を導入すべきと考える。</p> <p>現在 SL(スクールリーダー)に膨大な学生の情報がデータ管理されているが、来年度からは Campusmate-J というシステムへ移行する予定。</p> <p>今までの個人情報管理も含め、今後増えていく個人情報をずっと変わらず管理していく、また、逆に紙媒体での保存に関する基本ルールなど、詳細の部分のマニュアルなどもしっかり制定し、行っていかなければならないと感じる。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------



## 6-1 法令の順守

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 法令、設置基準等の順守と適性な運営がされているか	5	法令、設置基準等の順守と適正な運営がされている	法務省 HP, また(一財)日本語教育振興協会の基準に基づいて運営している。	特になし	特になし
6-1-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	個人情報保護のための対策は行っているが、不十分な部分もある。	入学時に個人情報について公開の有無の許可を学生1人ずつから取得している。	職員に対してないため同じように検討要。	特になし
6-1-3 入管・日振協・関係官庁への届け出、報告を滞りなく行っているか	5	届出、報告は滞りなく実施されている。	確実にしている。	スケジュール化をしっかりとし、遅延なく的確に出来るようダブルチェックをしている。	受入の開始、終了報告など(入管) 定期報告など(日振協)
6-1-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	今年度は昨年の問題点の改善を大きく図ってきた。しかし、まだ項目によっては手付かずのものもあるため順次制定していきたい。	今回3回目の自己点検であるため。	昨年からは開始し、改善できるところから少しずつ改善を始めている。	特になし
6-1-5 自己点検・自己評価の結果は公開しているか	4	公開している。	行っている。	不十分事項については一つずつ改善を図る	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
改めて自己点検をすると、不十分なところが浮き彫りとなる。少しずつ改善を図ってはいるが、今後、不十分事項を再度検討し、改善を図りたい	重要な課題から優先順位をつけて丁寧に改善を図る。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 第2 運営に関する事項

### 基準7 運営全般

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>○組織的な運営について、全社キックオフミーティング、決起大会などで短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化されて職員に周知されている。行われる事業計画に対して、予算もしっかり立てられ、それに対しての実際運営との予算乖離もしており、的確に運営されている。また、それら全部を見通して業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。</p> <p>○納付金について検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示され、また学費以外に入学後必ず必要になる費用も同じように明示されている。今回新告示基準に伴い、学費以外に入学後必ず必要になる費用もしっかりと明示し公開されている。</p> <p>○情報の共有化及び発信について、内部の情報に偏りがちであるが、外部の情報を意識することで日本語学校業界全体を見通すことが出来る一般知識が得られる努力をするべき。他の日本語学校がどんな状況で学生募集をするか、現場で勤務する、教務、事務局が同じ目線で世界情勢を把握し、常にお客様である学生に対してどのようなサービスが提供できるか模索すべきだと思う。</p> <p>○事務局職員の入れ替わりが発生し、業務の基本マニュアルの意識統一を図るところから改めて行っている。しかし、学校全体の業務マニュアルが順番に制定されてきているので、今後は担当者の変更になっても楽になってくると思われる。</p>	<p>○実際、担当する職員の力量により、認識にばらつきがある。今後ジョブローテーションを含め全員が様々な業務が出来るよう、成長機会を与えていくべきだと感じる。</p> <p>○お金に関するものは、一番クレームに直結する事項であるため、はっきり明示し、学生に混乱させない努力をいつも惜しまないようにしたい。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 7-1 組織的な運営

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか	5	短期及び中長期の運営方針と経営目標は毎年明確化され、教職員に周知されている	年2回の全社会議、月1度の幹部会議を行い、各事業部ではその内容を職員会議で周知している。また講師ミーティングで非常勤講師にも共有を図っている。	何度共有しても意識が薄くなるため、行うタイミングと共有する内容については再度検討が必要だと感じる。	中期ビジョン 戦略MAP 中期BSC KPI
7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか	4	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている	それぞれのマニュアル制定がされてつつあるが、まだまだ口頭引継ぎが多い部分がある。	書面に残すことで、統一化を図りたい。	グループ諸規定集
7-1-3 意思決定システムは確立されているか	4	意思決定システムは確立されている	自分の役職に見合った意思決定がなされている。	どの役職で意思決定するのか、不明瞭な部分もあるため、随時書面に残せるよう図っている途中である。	承認ルート表
7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	4	予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である	予算を立て、それについて予算乖離もされている。	想定できない支出ももちろん多いため、中長期にまたがり大きく支出するものの経営側との意思疎通をもっと図らなければならぬと考える。	予算表
7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	4	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている	業務の見直しは随時行われているが、それぞれ個人的に行う部分が多い。	ジョブローテーションをすることで、他人の目から見た効率化を図ることと、どの担当者もどの仕事も出来るようになることで組織力が上	特になし

7-1-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	情報システム化等による業務の効率化が図られているが、更なる効率化を検討中である。	SL の限界からシステムの変更を来年度より決定。	来年度より Cam-J へのシステム移行が決定した。これにより業務の簡易化、また発行する証明書類の統一化がシステム上からしっかりと統一される予定	特になし
---------------------------------	---	--	--------------------------	--	------

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生数が増えてきて、仕事の大量化、また新人職員の採用などで通常業務が押される感じになっている。これを更に効率よくこなすために、システムの改訂を含み業務の可視化を進めることにより、的確に迅速に仕事出来る体制をもっと検討すべきだと感じシステムを始めとする業務推進を図ってこられた。</p>	<p>新しいシステムの導入に伴う、事務作業の調整、また事務フロー、ルールなどを同時に制定することと、また今後の学生増に伴う事務の簡易化など、大きく事務効率、運営統一が図れるようにと考える。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 7-2 納付金

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示されているか	5	納付金額は学則、HP、募集要項に、納付期日は年間スケジュールに明示されている	HP、パンフレット、募集要項、学校規則などに明記	特になし	HP パンフレット 募集要項 学校規則
7-2-2 学費以外に入学後必ず必要になる費用が明示されているか	5	学費以外に必ず必要になる費用は明示されている。	HP、パンフレット、募集要項、学校規則などに明記	特になし	HP パンフレット 募集要項 学校規則
7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか	5	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている	HP、パンフレット、募集要項、学校規則などに明記	特になし	HP パンフレット 募集要項 学校規則

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>金銭に関してはトラブルに一番なる部分であるため、各種資料に明示すると共に、入学希望受付をする際に出来る限り詳しく説明するよう、心がけている。</p>	<p>返金について、新告示基準についてもしっかりと明記するよう促されているので、それぞれしっかりと明記することと共に、各職員が相違のない説明できるよう、指導しなければならないと考える。</p>

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂

### 7-3 情報の共有化及び発信

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがあるか	4	経営陣及び一部の幹部職員は外部の経営戦略セミナー等に参加し、経営に活かしている。	セミナー参加報告書、資料	幹部職員が外部の経営企画等のセミナーに参加する機会が少ない。今後は情報の共有の仕方の検討と職員の意識の持ち方の再指導を行う。	研修参加報告書、研修資料
7-3-2 内部の情報共有を効率的に行う仕組みがあるか	4	内部の情報共有を効率的に行う仕組みがある	週に一度の職員会議。	職員会議の定例化で情報共有は出来るが、逆に意識が薄くなることもある。特に重要なことに関しては再度メールでリマインドするなど、周知の方法を検討する必要がある。	会議議事録
7-3-3 入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっているか	4	各言語対応者を雇用しているが、ベトナム・ロシア・スペインなどの対応者がいない（英語を理解していない学生は分からない）	言語対応国籍でない場合は学生が少ないためである。しかし、学生は実際困るケースもあるので、今後は学生の入学時日本語レベルを検討するか言語対応者の雇用の検討をしたい	事務局職員が入れ替わっているので全般的な事務局知識を OJT など、どんどん知識を高める努力をしたい。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
事務局長レベルになれば外部と繋がることも多く、知り得た情報を共有、会社に生かすということが当然出来るが、一般職員は認識及び外部交流の機会が薄い。	自分の置かれた役職立場で、どういったことが経営にプラスになるのかを常に考えられる職員体制になるといいと考える。そうするには、職員の意識改革が必要であり、自分たちで学校を作る、という誇りを持たせることが必須だと考える。

最終更新日付	2018年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 基準 8 学生募集

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>東京本部にある海外入学相談センターと大連の直営事務所の2拠点で連携して入学選考、書類審査を行い手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>常に教育の質的向上を図り、学生の満足度を高めるためには、当校の教育理念を理解し、学習意欲や目的意識が高い学生を募集し、入学後も顧客満足調査結果を真摯に受け止め質的向上を心掛けている。</p> <p>他を寄せ付けない圧倒的な実績を上げることで本校のファン層を作り、安定した入学者数を毎年確保するために職員一丸となって日夜奮闘している。</p> <p>今後は教育カリキュラムと人材育成の成果を関係機関と共有し、学生募集の際適切に発信していく。</p>	<p>近年では早期の修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合もあり、在籍人数の予測が難しくなっている。担当者は入学希望者の募集のタイミングで最新の情報にリストを更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理をすることにより、募集定員の範囲内で安定的な募集活動を行っていく。</p> <p>学生募集では、独自の部署や、海外の募集拠点を持つことによって、実際に起きている教育現場の実態や学生のニーズの変化に遅れることなく、タイムリーに対応していかなくてはならない。募集担当者は常に最新の学校情報の把握に努め、コースやカリキュラムの深い内容理解まで、教職員のコミュニケーションを密に連携していく必要がある。</p>

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

中村 知弘

## 8-1 募集方針

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入れ方針を定め、年間募集計画を策定しているか	5	多国籍の学習環境提供の方針のもと、国籍バランスを考慮しながらエリアと国別の計画を策定している	前述のとおり	学習者のニーズの多様化に対応し、目的にあった最適な教育環境提供のためには、コースごとの受入れ方針などの設定を検討する必要がある。	事業計画 営業アクションプラン
8-1-2 募集定員の範囲で募集活動を行っているか	5	定員は関連法規に従い、適正に設定されており、その範囲内で募集活動を行っている。  在校生の修了者予測を入学期ごとにエリア別に設定し、募集人数を調整している	「日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書」にて実証済み。	早期修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合があります、在籍人数の予測が年々難しくなっている。 在籍数をリスト化し、入学希望者の募集のタイミングで最新の情報に更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理が必要である。	事業計画 在校生定員予測  日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書
8-1-3 募集担当職員は、学校の情報を正しく認識した上で、入学相談を行っているか	4	入学相談の際、わかりやすく誤解を与えない様発信すべく、定期的なプログラムやコース内容の勉強会を実施している	ファイルサーバー内 学校共有情報のまとめ	教育現場や学生ニーズの変化に対応すべく、募集担当者は常に最新の学校情報の把握し的確に代理店(カウンセラー)に展開していく仕組みが必要である。	学則、募集要項、 学校案内パンフレット他

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
年間募集計画を策定し、定員の範囲内で募集活動を行っている。	受入れ方針の検討や在籍者数の管理が必要で、正しい情報を提供するには、定期的な情報共有や更なる細かいコミュニケーションをとっていく。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	中村 知弘
--------	------------	-------	-------



## 8-2 募集活動

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 教育内容・教育成果を含む、最新かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語が開示されているか	4	正確な情報を多言語で開示している。(英語・簡体字・繁体字・韓国語・西語・露語・ポルトガル語・タイ語・フランス語) パンフレットにより、モンゴル語、インドネシア語・タイ語で開示している。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	教育成果の公表は、主に出口実績のみの公表となっているため、今後はさらなる情報開示を検討していきたい。多言語への翻訳に伴う情報発信の遅延、および内容の検証については外部委託を検討中。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-2 求める学生像を明示しているか	5	ホームページおよび募集要項・ISIの理念・教育方針でアドミッションポリシーを明示している	ホームページ 募集要項		学校ホームページ 募集要項 スタートブック
8-2-3 応募資格及び条件を、入学希望者の理解できる言語で明示しているか	4	募集要項にて、各言語で明示している。	募集要項	主要言語では明記しているが、その他の言語では丁寧な説明が必要である	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を順守した募集活動を行っているか	3	企業理念に則り、法令遵守を徹底している。	前述のとおり	市場の拡大に伴い提携先代理店数も増えてきており、海外の代理店が当校をどのように紹介しているか、詳細の確認をされていない国もあり、そのあたりの今後の徹底は課題である。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット

8-2-5 海外の代理店等に、最新かつ正確な情報提供を行っているか	4	最新情報はホームページやパンフレットやチラシによって提供し、定期的な出張訪問やSkype等で直接説明を行っている	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	営業支援システムの導入に伴い、定期的に情報発信が可能となったが、多言語化での対応に時間を要する。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-6 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか	3	新規エリアや全代理店の募集活動の把握は難しいが、海外代理店の行う募集の契約条件の内容を確認している。	出張計画・報告（出張報告・訪問記録）	定期訪問と担当者との密なコミュニケーションにより把握していく3	出張報告書、代理店コミュニケーション管理

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を分け隔てなく世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>中国(大連)に直営事務所を開設し、東京には独自の部署を持ち、東京と大連を拠点に入学選考を一括して行っている。入学希望者から提出された書類は、入学相談センターおよび大連事務所で協力して審査し、手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>入学希望者に配布する募集要項では入学条件を明記しており、ホームページでは学校の教育成果、留学している学生のリアルな姿として、在校生の成長の過程や卒業生の進路や活躍を学内に掲示し、またWebサイトやSNSで発信することで、国内はもちろん、海外からでも十分に学校生活をイメージでき、入学後のミスマッチが起らないように心がけている。</p>	<p>8-2-3:受入れ学生の主要言語では情報を明示しているが、その他の言語では誤解がないよう丁寧な説明が必要である。</p> <p>8-2-6:海外の代理店や教育機関の取引数が多いため、全ての情報の確認が難しいのが現実的にある。情報が古いままであったり、間違った情報が流出しないよう、定期的に代理店に説明し、代理店のホームページや営業資料を確認していく必要がある。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	中村 知弘
--------	------------	-------	-------

### 8-3 入学選考

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 入学選考基準及び方法が明示されているか	5	選考基準を募集要項で明記している	前述の通り		募集要項 ホームページ
8-3-2 学生情報を正確に把握し、提出書類により信憑性の確認を行っているか	4	共有の営業支援ツールおよびファイルサーバーに入学選考に関するデータベースを保存し、提出書類は複数のスタッフで母国語も含め確認を行っている	前述の通り	対応できない言語では日本語の翻訳の添付をつけさせ、現地での公証をさせている	
8-3-3 入学選考を行う体制が整備されているか	5	入学希望者とは母国語または英語でのコミュニケーションを取り、専属スタッフが入学選考を行っている	前述の通り	日本での大学進学資格に必要な12年教育制度ではない国からの希望者には準備教育が提供できない	
8-3-4 受け入れるコースの教育内容が、志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	4	各種媒体における就職、資格取得等の教育成果に関する情報公開は、また不足していると思われる	前述の通り	就職、資格取得等の教育成果に関する情報の媒体別掲載内容、情報量などの適正な取り扱いについて、社会情勢、環境を考慮して検討する	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生選考は現地に赴いての直接面接やSkypeを用いた面接を行い、学校の基準にのっとり必ず学校職員が行っている。これら面接の結果と提出された申請書類から総合的に入学選考をするため、学生の目的意識を第一に、支弁能力、勉学意欲を中心に基準を設けている。その後も現地と密に連絡・訪問を繰り返し、安心して入学できるようサポートを継続している。特に中国には現地事務所を置き、より綿密に入学希望者、保護者とコミュニケーションができるようにしている。また共有のサーバーに入学選考に関するデータを保存し、入学選考に関する情報を正確に把握している。</p>	<p>特に東京では入学希望者が多いため、入学選考には細心の注意を払っている。書類審査では経費支弁能力があるかどうか厳格に審査し、筆記試験では授業についていける学力があるかどうか適正かつ公平な基準で選考している。面接では志望理由が明確かどうか、願書や履歴書など記載内容お相違がないかを確認し、書類の信憑性と希望者本人の勉学意欲両方をみている。不法滞在や不法残留を多く発生させている国については、特に厳格な選考基準を設け、質の高い学生の確保に努めている。</p>

## 基準 9 教育活動

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>○教育計画として、理念・教育目標に合致したコース設定をしており、通常より事業計画にて、さらにそれをよくする努力を怠っていない。授業は日本語学校にとって最大の商品であり、その価値を上げるためにいろいろな検討、分析を行い、年々より良いものにするための努力をすべきだと考えている。</p> <p>○実施については、日本語教授をやりっぱなしにせず、学生評価をしっかりとすることで常に指導者側も上を目指せる体制としている。学生満足度調査に基づき、よりよい授業の提供に各職員が努められる様、検討している。時代にあった ICT 授業への取り組みが、まだまだ未開発ではあるが、教材開発を含め、先行して行えるよう、準備をしたいと考える。</p> <p>○成績判定について校内では判定方法をしっかりと統一した。また卒業規定も設けた。これにより、学生への評価基準がしっかりと確立したといえる。</p> <p>○授業評価について、学生による授業評価を年 2 度しっかりと行っている。</p> <p>○学生への成績フィードバックをしっかりと行うことができるようになった。</p> <p>○今年度は短期生オリジナルコースの一部の授業に対して学生から不満の声を受ける場面もあった。学生からのヒアリング及び授業見学から、教員の力量不足が主な要因と思われ、教員との面談及び授業の進め方研修を行い改善を図った。</p>	<p>○学生国籍に合わせると進度が遅れがちになるところを、しっかりとカリキュラム体系をとることで、日本語学校としての最終到達点をしっかりと取りそれに向かい各教務が学生に対して指導をするという組織的な教育活動が出来ていると感じる。今後は非漢字圏国籍の学生のより進学率を高め、日本の社会に必要な不可欠である、質の高い外国人労働者の確保の一旦を担えるよう努力したいと思う。</p> <p>○学生満足度調査の有効活用ももっと徹底して検討すべきである。</p>

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂

## 9-1 教育計画

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	5	理念・教育目標に合致したコース設定が行われている	短期の学生にも合致する、アクティビティ体験型授業を提供し始めた。それにより、日本語学習目的者によって選択できるニーズを整えることができたといえる。	初年度から新しいサービスを提供し、手続などでも混乱期があったが、それらの問題をほぼ全部解決し、マニュアルを制定した。学生は自ら希望に合うコースを選択でき、目的にあった日本語指導が出来るようになった。	学校案内パンフレット ホームページ
9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか	5	教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている	非漢字圏学生が多いため、大学進学目標を設定し、初級進度を早め最終目標到達を目指す設計をしている。	今後もこれに準ずる	学校案内パンフレット 入管提出書類 カリキュラム表
9-1-3 レベル設定に当たっては、国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか	5	国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている	JLPTの基準、有学者の知識を取り入れ総合的にカリキュラムを検討した。	今後もこれに準ずる。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-4 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	5	教員間で共通理解が得られている	職員会議、講師ミーティングで徹底を図った。	今後もこれに準ずる	研修資料 指導マニュアル
9-1-5 カリキュラムは体系的に編成されているか	5	カリキュラムは体系的に編成されている	最終到達をはっきりときめ、スケジュールに完全に落とし込むことにより、在籍期間で確実に目標到達に行くよう体系的に編成した。	今後もこれに準ずる。	学校案内パンフレット 年間カリキュラム スタートブック

9-1-6 教育目標に合致した教材は選定されているか	5	教育目標に合致した教材が選定されている	授業進度を確定させるために漢字教材を検討した。予定どおりの進捗で進むための選定である。	今後もこれに準ずる。	学校案内パンフレット
9-1-7 補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	2	各教員個人に任されている。	各々が著作権法にあたるものを配布しないようにするなど、留意している。	今後はルール作りをし、それを各教員に周知し、徹底することが必要。	特になし
9-1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示しているか	5	提示している。	講師ミーティング、通常の引継ぎ等で非常勤講師にまで提示するよう心がけている。	今後もこれに準ずる。	年間スケジュール 授業引継ぎ報告書
9-1-9 教員配置が適切になされているか	5	教員配置が適切になされている	常勤も非常勤も常に採用を進めて、余裕のある人員配置が出来るように少しずつなっている。	日本語の指導可能レベルを少しずつ各人あげさせ、どのレベルでも対応できる職員を1人でも多く育成することが急務。	タイムテーブル 教員リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学校にとって一番の商品であるため、絶対妥協は許されないと考える。常に上を求め、学校の姿勢を明確にし、非常勤講師までその意識が浸透するよう対応を強化している。来年度より新しく試みる授業準備については、講師ミーティングで教授法を共有したりしており、進化を常に求めながら定着も図り完全に在籍期間中にカリキュラムが終了するよう、徹底して行っている。また、課題であった、短期オリジナルコースの成績基準も今年度確定させることができ、更にサービス提供を深くできるよう努める事が出来た。	短期オリジナルコースの募集の伸び悩みなど、内容の検討は常に必要。またそれに準じて、運営の仕方の検討も更に必要である。 学習する学生が本来の目的が達成されたのかどうか、という判定がしっかり統一した基準で評価されるよう、今後も検討していきたい。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 9-2 実施

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 授業開始までに学生の能力を筆記試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	5	適切なクラス編成を行っている	プレイスメントテスト、(筆記・面接)を行い、レベルにあったクラスへ入学させている。	今後もこれに準ずる	プレイスメントテスト 面接シート
9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか	5	必要な情報を伝達している	非常勤講師に対しても確実に伝達している。	今後もこれに準ずる。	プレイスメントテスト 進路調査票
9-2-3 決定したシラバスによって授業が行われているか	5	決定したシラバスによって授業が行われている	授業については年間で決定するため、これに従い行われている。	今後もこれに準ずる。	年間スケジュール レベル別スケジュール スケジュール
9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか	5	2017年度に確立した。	学校内で基準を制定して学生にも明示した。	今後もこれに準ずる。	学生規則
9-2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用しているか	5	設備は設置した。今後はそれらを有効に使えるよう、検討したい。	ICT 授業の取り入れを開始した。授業内容を順次濃くして、時代にのった指導法を取り入れていきたい。	指導者により、使用法がまだまちまちであるため、統一した内容を教育推進の下で検討する必要がある。	教育用機器使用マニュアル 教育用機器リスト

9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	5	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している	授業の引継ぎ簿、出席簿の記入が徹底されている。	今後もこれに準ずる。	出席簿 授業記録簿
9-2-7 理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われているか	4	理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われている	単元テストの徹底と、期ごとの期末試験が徹底されている。	今後はISIグループで統一試験を検討している。	アチーブメントテスト 定期テスト
9-2-8 学生の自己評価を把握しているか	4	満足度アンケート結果において、学生の自己評価を行っている	満足度アンケートで自己評価はさせているが、相対評価として取っているため、学生を特定して把握していない。	アンケート結果を担当がしっかり確認できる体制にすることを検討したい。	満足度アンケート結果
9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	3	行われているが、それぞれ全員が対応している	担任にゆだねている。担任の力量により、指導に良し悪しがあるのは否定できない。	今後は、それぞれの学習で担当者を選定し特別支援することを検討したい。	タイムテーブル
9-2-10 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか	4	進路指導に関しても、精神的な支援についても助言を受ける環境を制定している	産業医の設置、衛生委員会の実施を行った。	専門医の設置は行ったが、なかなか本当に利用するまでには至らない。周知のさせ方などを今一度検討したほうが良さそうである。	産業医
9-2-11 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	4	担当者が特定され、適切に対処している	学生からの簡単な相談は各担任が、また各クラスに事務局担任も設置。より詳細に学生からの相談を受けられる体制を徹底させた。	この方法でうまくいっているので、このまましばらく運用して様子をみたい。	学生指導報告カード 業務分担表 タイムテーブル



9-2-12 学習内容、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点と、相談担当者が分かる文書を入学時に学生に配布しているか	4	スタートブックの配布	各担任が対応するため、学生にはその説明を行っている。	今後、担当者を文書化することを検討する必要がある。	学生規則 学校紹介パンフレット スタートブック
9-2-13 留学生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布しているか	5	入学時に配布している。	それぞれの事務局担当者が言語対応を兼ねやっている。またスタートブックにルールを提示したことで学生にも情報の共有を図ることが出来た。	スタートブックの見直しと改訂を随時行う	スタートブック
9-2-14 JLPT、EJU の指導体制はあるか	5	JLPT、EJU の指導体制は整っている	授業内でももちろん、選択授業でもその対策授業は行われている。	今後もこれに準ずる。	選択授業スケジュール JLPT、EJU 結果データ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
授業内容、成績、進学指導に関しては担任が行っている。また私生活については、事務局の副担任制度を入れているので担任としっかり情報共有しながら、学生一人一人の情報を把握することで全体から見た問題点がすぐに分かるよう指導体制を取っている。	今後、学生数が増えるため、体制をさらに再検討する

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

### 9-3 成績判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	5	開示している。	社内的に判定基準は決まっております、それを学生に公開している。	判定基準を再検討した。また開示方法はスタートブックを作成し、学生一人一人へ配布した。	日振協提出書類 成績入力フォーマット 成績証明書 スタートブック
9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	5	スタートブックに基づき、オリエンテーションで周知した。	スタートブックを配布	今年度、それを遵守し、行ってみて、さらに不具合を再検討したい。	成績証明書 スタートブック 成績フィードバック
9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	4	今後順次予定している。	今後順次予定している。	年間スケジュールに基づき、行う予定。	成績システムの入力フォーマット 年間スケジュール

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
社内的に、成績基準、卒業基準がしっかりと確立した。それに伴い、学生ハンドブックを作成、それを学生一人一人に配布し、オリエンテーションでしっかりと周知した。また課題であった短期オリジナルコースの成績基準も制定できた。	今後、成績基準については随時見直しをしたい。また、それぞれの試験の充実を図り、行内の成績判定がしっかりとされるよう、運用を見て必要であれば改善を随時図っていききたい。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 9-4 授業評価

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 授業評価を定期的に実施しているか	5	授業評価を定期的に実施している。毎年人事評価を行い、面談を通じてFBを行っている	学生視点での授業評価・教員評価は年2回行っている。	今後もそれに準ずる。今後の授業評価を受けての改善に向けての取り組みはフローを確立させていく予定である	研修スケジュール表 人事評価表 学生満足度アンケート 授業評価アンケート
9-4-2 評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されているか	5	評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されている	教員の人事評価は年2回、非常勤の評価は年1回実施している	今後もそれに準ずる。	人事評価表 研修評価表
9-4-3 学生による授業評価を定期的に実施しているか	5	学生による授業評価を定期的に実施している	全体の学生満足度調査を年1回、授業評価・教員評価は年2回行っている。	今後もそれに準ずる。今後の授業評価を受けての改善に向けての取り組みはフローを確立させていく予定である	学生満足度アンケート
9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか	5	評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている	年4度の講師ミーティング時に学校評価を非常勤まで共有している。また各講師の評価は年1度の人事考課時に本人にしっかり伝達し目標設定にしようしている。	今後もそれに準ずる。	学生満足度アンケート

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
年に2度行う学生満足度アンケートを、生の声として学校運営に最大限生かすためにいろいろな角度から検証し自己反省の材料として使用している。事業部の事業計画にも使用し、客観的に自分の姿勢を見直し、今後も更に上を目指せる学校作りをしたいと考える。	満足度調査の内容を常に検討していくべきである。また、教員間で授業見学を行い、授業を直接評価するなど、スキル向上につながるための評価体制見直しが必要である。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂

## 基準 10 学生支援

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>○支援体制について、学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているが休日及び長期休暇中の学生対応は緊急受け受けの携帯電話を職員が必要な時期に持つことで対応可能とした。</p> <p>○日本社会を理解し、適応するための支援として生活オリエンテーションを入学時に行っている。また地域の国際交流にでかけることにより、日本人の気質を知り、早く日本文化に溶け込める指導をしている。</p> <p>○生活面における支援は、住居については4か所にある寮に希望者は入寮できる体制となっている。またアルバイトについては週28時間以内の勤務を徹底して指導した上で、日本語レベルに合わせて希望者に紹介することが出来る体制をとっている。またやむを得ず起こった交通事故対応、病気対応なども現場では必ず対応するよう体制を取っており、学生が安心して留学生生活を営めるよう、努力している。</p> <p>○進路に関する支援について、入学したときから卒業するまでの一貫指導がしっかりと確立されている。学生には進学に伴うお金の準備の話まで網羅させ、いつ、どのタイミングでどんなお金があるのかもレクチャーしながら指導している。また、進路情報については出来る限り広く拾い、学生のニーズに応えられるよう職員も日々勉強している。</p> <p>○入国・在留関係に関する指導及び支援について、長年対応するベテランの職員がスケジュールに則りそれぞれのビザの管理を行っている。また不法滞在、不法就労、長時間労働に関しても学生調査をした後の個別カウンセリングで徹底して指導をしている。</p>	<p>○まだまだ日本人との間に壁があるこの日本社会で、外国人を受け入れてもらうためには、地域の社会貢献が一番いいのではないかと考える。学校周辺のゴミ拾いなど、簡単に出来る事項を指導しながら行うことで日本文化を指導する意味でも有効に出来る行事として是非前向きに検討したいと考える。</p> <p>○緊急対応できる職員の数に限りがあるため、休日を含む職員の体制は見直す点だと認識する。</p> <p>○進路先についての情報収集が職員レベルにより格差がある。進路指導室の設定も含め今後学生数が増えたときには担任制度を取り払った対応を検討しなければならないと感じる。</p> <p>○出席率をしっかりと管理することで学生たちの在籍を確保できるよう、とにかく指導に指導を重ねている。しかし、一部非常勤講師までの意識が薄く、また増員に伴い、新規雇用の職員も増員しているためこの辺りは一つの課題として今後どのように全職員に意識統一を図るかは今一度再検討しなければいけないと痛感する。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美徳
--------	------------	-------	------

## 10-1 支援体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	4	完全ではない。	日本人との交流、またアルバイト情報など学生の求めるサービスの提供を学生の目線で検討し、情報提供している。	在籍国籍が多いため、どの国の学生が何を求めているのか、更に分析し、学生のニーズに応えるサービスを追及していかなければならない。	学生指導内容報告カード 個人情報調査票 履歴書指導資料
10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応はできているか	4	長期休暇、入寮、退寮時など夜間を含め緊急対応できる体制を整えた。	職員の就業内容の検討をした	対応職員が限られているため今後は体制をさらに検討したいと考える。	特になし

\* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
日本語学校に入学する留学生にとって、生活などに不安要素があると出席率が悪くなったりと確実に学習状況に影響がある。そのため、この支援体制整備は日本語学習指導と同様に重要な仕事である。学生生活の状況の把握に日々努め、入学から卒業まで一貫したサポートができる体制作りをシステム的にもすることで学生に安心感を与え、授業に集中させられる環境を整えなければならない。	緊急時、夜間、入退寮時の対応担当者を決め、随時対応をする体制を整えた。しかし、完全ではないため、今後はさらのその業務内容の見直しと、改善を検討しなければならない。

最終更新日付	2018年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか	5	実施している。	入寮日翌日にオリエンテーションを実施している。途中入学の学生も日程を調整し必ず行っている。	オリエンテーションの内容を随時検討していくべきである。	オリエンテーション資料 学校規則
10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施しているか	5	実施している。	入寮日翌日にオリエンテーションを実施している。途中入学の学生も日程を調整し必ず行っている。	オリエンテーションの内容を随時検討していくべきである。	オリエンテーション資料 学校規則
10-2-3 地域の国際交流や、地域活動に参加しているか	4	参加している。	近隣日本人大学生との交流会を積極的に行うようにしているが、地域活動は手薄である。	大学生に来校してもらい交流をしているが、行う内容については学生のニーズを調べ、希望にあったものが提供できるよう検討したい。	特になし
10-2-4 地域社会に貢献する活動は行っているか	2	8/16 の大文字焼きのときの学校開放・カフェの解放を行っている。	それぞれ、地域の方の声に応えた。	更に今後は周辺のゴミ拾いなど地域貢献する時間を取ることを検討したい。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学時のオリエンテーションで具体的に日本での生活の諸注意等を周知している。なかなか地域の国際交流が出来ないため、今後はその場の提供の努力と、今まで出来ていなかった社会貢献する時間を取るなど検討したい。	主として、地域の日本人大学生などに声をかけ、国際交流の場を提供する努力はしているものの、まだまだ、数が少ないのが現状である。あと、地域がとても静かで街がとてもきれいなので、このあたりを意識させるためにも地域活動を今後は積極的に考えていきたいと思う。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂

### 10-3 生活面における支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 住居支援を行っているか	5	行っている。	4つの寮も持ち学生に提供している。特に学校そばの寮は新築でたくさんの学生が入居できるよう 2018.7 月建てた。	寮以外の希望学生については自己手配となっており、学校で出来る範囲では紹介はするものの、詳細は本人任せになっている場合も多い。	HP 募集要項
10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	5	行っている。	希望する学生への紹介、面接指導、履歴書指導など、レベルに合わせて随時行っている。	他業種のアルバイトを紹介している。希望する学生には随時紹介できている。	特になし
10-3-3 交通事故等の相談体制が整備されているか	3	十分とはいえない。	交通事故対応が出来る職員が限られていることと、知識としては持っているが体制が整備されているとはいえない。	事故対応マニュアルの作成を検討したい。	特になし
10-3-4 定期的に健康診断を実施しているか	3	十分とはいえない。	12 月に結核健診を全学生に対して実施した。	今後定期的にしっかりと行いたい。	特になし
10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査しているか	4	調査している。	年に4度、学生調査を行っている。	学生調査をした後に個人カウンセリングを行っているが、実際それで把握が出来るかどうかとなるとまだまだ不足している部分があることを否定できない。	学生調査票

10-3-6 その調査結果に対する裏付け確認は適正に行っているか	4	十分とはいえない。	アルバイトの実態調査など、完全に出来ているところと出来ていないところがある。また住居についても寮外生すべての自宅訪問は出来ていない。	今後裏付け確認の方法については要検討である。	学生調査票
----------------------------------	---	-----------	--	------------------------	-------

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
留学生在生活に不安があると、学習状況に表れることから、生活状況の把握は年間を通じて計画的に行っている。しかし、詳細までは問題のある学生に限定され、問題のない学生は後回しになる傾向にある。今後は全員の詳細把握と、それに伴う指導をしっかりと行える体制にしていきたいと感じる。また課題となっていた、健康診断も今年度結核健診はしっかりと行えた。今後も定期的に行うようにする。	結核健診は行えたが、健康診断までは行えていない。今後、更に検討したい。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------



## 10-4 進路に関する支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-4-1 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか	5	機能している。	進学クラスの担任がそれぞれのクラスの学生の指導を行うこととなっている。	来年度はキャリア担当者を配属することで更に学生へサービス提供できるようにしたいと考えている。	業務分担表
10-4-2 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか	5	共有されている。	キャリアスUCへの入力を徹底させた。	今後、新システムへ変更するので、さらに入力を徹底した。その内容についても分析できるようにしたい。	進路調査票 キャリアスUC
10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか	5	閲覧できる状態である。	専門学校・大学の各資料については最新版を決められた箇所に収納、閲覧できるようにしてある。	各資料を閲覧しやすいよう収納はしているが、更に学生が利用しやすいよう、キャリア担当を置くことでその資料自体の閲覧の補助などが出来るといいと考える。	大学・専門学校の募集要項・入学案内
10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っているか	5	行っている。	キャリアセンターを中心に年間を通して進路相談ができる体制を整えた。	キャリア担当が不在であるため、キャリアセンターの指示の下行ってきたが、手厚くない。今後は担当を置き、更にサービス提供に努めたい。	進路手帳
10-4-5 EJU、JLPT、BJT等の受験指導体制は整っているか	5	整っている。	試験申込案内などを教育推進からしっかり案内をされ、学生達に周知し受験させるというマニュアルが制定されている。	団体申込をすることで結果を知られにくいという学生が個人で申込をするなど、学校で受験データを取得するのが難しくなる部分も出てきている。今後要検討。	進路手帳

10-4-6 大学学内試験対策の指導体制は整っているか	5	整っている。	学内試験日の周知から通常の単元テストまで常に学生には到達点を意識した指導をしている。	今後 ISI グループの統一試験を制定する方向でさらに検討する。	進路手帳
10-4-7 受験時、就職時の面談指導の体制は整っているか	5	整っている。	進路オリエンテーションで、基本的な指導をまず最初に行い、後個別で各学生と面談練習を行ったりしている。	今後はキャリア担当者が何度も個別指導できる体制を整えていく予定。	進路手帳

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学時期から卒業まで、必要ときに必要な情報を与えられるよう、部内で何度も検討し作成した進路手帳を活用し、進路指導については計画的に行なっている。	学生の多国籍化、また以前の学生と比べた状況の相違など、年々学生の層、考え方なども変化してきている。また国内の留学生増を受け、進路決定状況も変更しているためその辺りを常に生きた情報として更新しつつ、学生には最新の情報を与えられるよう職員も努力していかねばならないと考えている。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-5-1 研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられているか	4	研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられている。	日振協の事務研修会を始め地域で行われる研修会へは全部参加をし、職員に情報共有している。また教務に対しても研修会を行った。	教務に対しての研修会	研修、協議会等参加報告レポート
10-5-2 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っているか	4	入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っている。	学生個別面談の際にしっかり話しをしている。入学時と入学後半年とビザ変更時としている。	学生への指導頻度がこれでもいいのか、要検討。	オリエンテーション配布資料 スタートブック 資格外活動の際の注意事項 在留カード携帯義務（校内掲示物）
10-5-3 在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理しているか	5	在留期限、一時帰国、修了者・退学者の進路等、在留に関する学生の最新情報を把握管理している。	年4度の学生調査。カウンセリングを行っている。	今後もこれに従う。	在留資格期間更新者リスト 退学者リスト 一時帰国届出書 出国時のチケット
10-5-4 在留上問題のある学生、及び問題になりえる学生の指導を個別に行っているか	5	出席不良者をはじめ、問題のある学生及び問題になりえる学生に関して個別面談を実施している。	担任指導だけでなく、副担任制度によって事務局でも生活指導を行っている。場合によっては事務局長指導を適宜行っている。資格外活動のあり方についての指導のためのPPTを作成し実施した。	資格外活動については頻度をあげ、更に指導回数を再検討。	学生指導報告カード 学生管理基準書 資格外活動指導マニュアル

10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っているか	5	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っている。	年4度の学生調査と随時行う個別カウンセリングで、生活状況の把握と、心に持つ悩みをなるべく聞くよう心がけている。欠席・遅刻が多い学生にも同様。	途中期にオリエンテーションを入れるなど、方法を少し検討したほうが良いと考える。	学生指導報告カード 職員会議議事録 学生管理基準書
10-5-6 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか	4	十分とはいえない。	不法滞在として除籍処分とした学生が過去にいる。また資格外活動に関しては、学校届けは28時間以内としているが超過して行っていると見受けられる学生がいる。	資格外活動の28時間以上就労については徹底して学生指導しているが更に頻度をあげオリエンテーションをすることを検討したい。	入管適正校通知
10-5-7 除籍、退学、修了、卒業で帰国予定となった学生の帰国確認を適時行い、それら出国確認の書類を適正に管理しているか	5	適正に管理している。	全修了・卒業生に対し、確実に帰国確認と進学確認を必ず全員している。	今後学生が増えるが、今同様徹底して行う予定。	帰国後のご案内 パスポート出国印、穴の開いた在留カードコピー（写真） 退学者リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>入国、在留関係に関する指導に関しては事務局を中心に全職員が在籍する学生に対して確実に日々注意をしている業務となっている。</p> <p>学生入へは入学時のオリエンテーションでしっかり伝達はするものの、後は個人指導となるため、これらを常に意識させるためには研修等で勉強した、国内の犯罪、在留知識を職員へ共有するだけでなく、留学生たちにも伝達できるようなオリエンテーションを入学時以外にも開催できるよう検討できるといいと昨年感じ、今年度に関しては該当学生に対してオリエンテーションをやるためPPT資料を作成し、実施した。実際、対象学生を国へ帰国させることにもなった。今後、そのような悲しいことにはならないよう、入学前から昨今のアルバイト事情をしっかりと学生へお伝えし、経費支弁者がしっかりしないと、せっかく日本に来て最最後まで修了することが出来ない旨も代理店を含め情報を共有し、更に学校の適正運営を図りたい。</p>	<p>問題学生の共有の仕方、また、段階をおった指導の仕方など、職員によって差がどうしてもあるため、それらの指導の仕方を含め意識改革も、すべて計画的に進められるよう、検討すべきだと感じる。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 基準 1 1 教育成果

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>○成果の判定として、卒業、修了の判定、また EJU・JLPT の結果把握は、今後の自分たちの授業のやり方を決定付ける反省材料として重きを置いている。今年度、会社として基準を制定した。年々学生のニーズが変更しており、時代についていくためには学生が何を求めまたどんな結果を欲しがるのかを随時把握することから始まり、結果として出すための授業への工夫は日本語学校にとって最大のミッションであると考えている。</p> <p>○卒業生の状況の把握は、一部の学生は進学、就職するたびに学校へ報告してくれるが全員がそうではない。</p>	<p>○非漢字圏国籍の在籍率が高い中、一定の成果がなかなか出せれず、何が悪いのか、まさに授業内容の検討の段階に入ってきていると感じる。学生のニーズにも応えながら、結果を出すために決められた時間で講師が何を指導できるか、今一度検討が必要。</p> <p>○今後どのように情報をつかむかは検討しなければならないと感じる。</p> <p>○学生が結果を出すには日本語講師の教授力のアップも図らなければならない。</p>

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美穂
--------	------------	-------	------

## 11-1 成果の判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-1-1 進路及び卒業・ 修了判定が適切に行わ れているか	5	適切に行われている。	期ごとに行う期末テストの 結果で最終的に本人が困ら ないよう、途中指導も入れな がら卒業・修了に持っていつ ている。	卒業基準をもったことで今 後、卒業に満たない学生をど う底上げするのかを再検討 しなければならない。	期末テスト結果 修了届け 卒業・修了証
11-1-2 EJU、JLPT 等 の外部試験結果を把握 し、適切に管理されて いるか	5	適切に管理している。	それぞれの全国平均を取っ たり、校内平均を取ったり し、今後の受験指導にも当た っている。	今後も継続。	EJU・JLPT 成績結果デ ータ

\* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学試験の可否・入学許可証の有無、内定通知書、帰国チケットなど、卒業判定に必要な書類を漏れなく回収している。また、外部試験の願書、受験票、結果は全学生から回収し、保管している。それらの資料を参考に今後の授業内容などを検討しながら来年度事業計画として進めている。	修了時の進学先のいろいろな情報データ、帰国時の情報データなどは確実に回収して保管している。事務担当者が増えることで、それぞれの意識の差で回収物に差が出ることはないよう、徹底指導し、学校としての回収物に漏れがないよう、一覧管理が系統的に出来るよう、検討を図りたい。

最終更新日付	2019年3月30日	記載責任者	井尾美徳
--------	------------	-------	------

## 11-2 卒業生の状況の把握

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-2-1 卒業生の状況を把握するための取組みを行っているか	4	十分とはいえない。	卒業直後の学生の状況は把握しているが、年数が経つ学生については、追っていない。	卒業生同窓会を行うなど、検討したほうがいい。	進路データ
11-2-2 卒業後の進路を把握しているか	3	十分とはいえない。	学生から報告があり把握することもあるが、積極的な把握には努めていない。	卒業生同窓会を行うなど、検討したほうがいい。	退学届 入学許可書・雇用契約書・帰国チケット 進路データ
11-2-3 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	2	十分とはいえない。	学生から報告があり把握することもあるが、積極的な把握には努めていない。	卒業生同窓会を行うなど、検討したほうがいい。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
卒業生の卒業直後の進路先や帰国状況の把握は、卒業判定とも合わせてほぼ実行できている。卒業後すぐの情報はしっかり把握できているものの、その後の進路についての把握は全員十分とは言えない。	卒業生の情報収集は、なかなか難しい問題であるが、同窓会発足など検討しなければならないと感じる。そうすることで、先の進学、就職、などの情報の収集、また在籍する学生への指導へとつなげられると思う。卒業生情報のデータ管理をシステム化することも一考したい。

最終更新日付

2019年3月30日

記載責任者

井尾美穂

「出入国及び難民認定法」内の日本語教育機関の告示基準の改定により、日本語教育機関の「学校評価」が義務化されたことを受け、教育の質保証・向上に資するという観点から本校においても「学校自己点検・自己評価報告書」を作成した。

平成29年度の報告書に関しては、日本語教育振興協会の「日本語学校における学校評価ガイドライン」を参考に学内に設けた委員会で議論を重ねた結果、以上の通り自己点検・自己評価報告書を作成した。

I S I ランゲージスクール京都校自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

平成31年3月

#### I S I ランゲージスクール京都校 自己点検・自己評価委員会

校長	荻野 正昭
副校長	井尾 美穂
事務局主任	曹 華仙
教務主任	関根 真奈美
教務チーフ	佐野 友里恵
教務	根岸 美和
事務局	趙 静
海外入学相談センター	中村 知弘